

＊この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	母性看護学概論	対象学生・時期	1 年生・後期	
		講義時間（単位）	30 時間（1）	
講師名	専任教員			
科目目標	1．母性の概念を理解できる。 2．人間の性と生殖について理解できる。 3．母性看護を取り巻く社会・倫理的課題について理解できる。 4．母性におけるライフサイクル各期の健康課題と援助を理解できる。			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1．母性看護の概念	1. 母性とは 1)母性の定義 2)母性の特性 3)父性・親性 4)母性看護の目的・役割・対象 2. 母子関係と家族の発達・機能 1)愛着形成 2)母子相互作用 3)家族の発達と機能 4)母親役割、父親役割 3. 女性や母子に関する概念 1)ヘルスプロモーション 2)ウェルネス 3)女性を中心としたケア 4)家族を中心としたケア 5)プレコンセプションケア	講義	
2				
3	2．人間の性と生殖	1.リプロダクティブヘルス/ライツ 2.セクシュアリティ 1) セクシュアリティの概念 2) セクシュアリティの発達と課題 3. 性の多様性	講義	
4				
5	3. 母性を取り巻く環境・社会の変遷	1. 母子保健の変遷 2. 母性保健の現状 1)母子保健施策の背景 2)社会情勢の変化からの問題 3)母子保健施策の目標・重要具体政策 3. 母子を取り巻く環境 1) 女性の就業率 2) 婚姻、離婚 3) 周産期医療システム 4) 外国人の母子支援	講義	

6	4. 母子保健の法律 ・施策	1. 母子を保護する法律 1) 母子保健法 2) 母体保護法 3) 育児・介護休業法 4) 戸籍法 5) 死産の届出に関する法律 6) 労働基準法 7) 男女雇用機会均等法 8) 児童福祉法 9) 児童虐待防止法 2. 母子の支援に関する法律・施策 1) 成育基本法 2) 子育て世代包括支援センター 3) 健やか親子 21 3. 女性の健康支援に関する法律 1) DV防止法				
7						
8	5. 母性看護の統計 ・母子保健の動向	1. 母子保健統計の動向 1) 出生の動向に関する統計 2) 新生児・乳児・周産期死亡の動向 3) 妊産婦死亡の動向 4) 死産・流産・人工妊娠中絶の動向				
9	5. ライフサイクル各 期における対象 の特徴と看護	1. 母性におけるライフサイクル各期の特徴 1) 性周期 2) 思春期 3) 成熟期 4) 更年期 5) 老年期 2. 母性におけるライフサイクル各期の 健康課題と援助 1) 思春期・成熟期 月経異常・性感染症・不妊症・生殖補助医 療・性暴力被害・人工妊娠中絶 2) 更年期・老年期 閉経・更年期障害・骨粗鬆症				
10						
11						
12						
13	6. 母性看護における 倫理	1. 母性看護における倫理的課題 出生前診断の事例 2. 妊産褥婦・胎児および新生児の権利 擁護と自己決定 1) 人工妊娠中絶 2) 生殖補助医療 3) 出生前診断 4) 胎児治療・ハイリスク児の医療				
14						
15	単位認定試験・まとめ					
評価方法	筆記試験					
使用テキスト	系統看護学講座 母性看護学概論 医学書院					
自己学習 時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う。			

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	妊産褥婦の健康の保持・増進に 向けた看護		対象学生・時期	2 年生・前期		
			講義時間（単位）	30 時間（1）		
講師名	助産師					
科目目標	1. 周産期にある対象の健康の保持・増進に向けた看護について理解する 2. 周産期における心身の特徴について理解する					
回数	主題		主な学習内容		授業形態	担当
1	妊婦の看護		1. 正常な妊娠のアセスメント 1) 妊娠とその診断 2) 妊娠経過における変化		講義	①
2			3) 妊娠期の検査と目的 4) 胎児の生理 5) 遺伝相談			
3			2. 妊婦と胎児のアセスメント			②
4			3. 妊娠各期の看護ケア 4. 妊娠期のメンタルヘルスケア			
5	産婦の看護		1. 正常な分娩のアセスメント 1) 分娩の機序 2) 分娩の 3 要素 3) 分娩が胎児に及ぼす影響			①
6			2. 産婦と胎児のアセスメント			②
7			3. 正常な分娩の看護ケア			
8	褥婦の看護		1. 正常な産褥のアセスメント 1) 産褥経過における変化			①
9			2. 褥婦のアセスメント 1) 身体機能の回復 2) 進行性変化 3) 育児技術の獲得			③
			10	3. 正常な産褥の看護ケア 1) 身体機能の回復		
11			2) 進行性変化の促進 3) 育児技術の獲得			
12	新生児の看護		1. 正常な新生児のアセスメント 1) 新生児の生理			①
13			2) 胎外生活への適応			③
14			2. 正常な新生児の看護ケア 1) 胎外生活への適応 2) 事故防止			
15	単位認定試験・まとめ					
評価方法	筆記試験					
使用テキスト	系統看護学講座 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 母性看護学各論 医学書院					
自己学習 時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う。			

＊この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	ハイリスクな状況にある妊産褥婦の看護	対象学生・時期	2年生・後期	
		講義時間（単位）	15 時間（1）	
講師名	医師 助産師			
科目目標	1. ハイリスクな状況にある人の看護を理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	出生前	1. 出生前 1) 不妊治療 2) 出生前診断	講義	
	ハイリスク妊娠	2. ハイリスク妊娠 1) 多胎妊娠 2) 異所性妊娠 3) 妊娠持続期間の異常 （流産、早産・切迫早産、過期妊娠・過期産）		
4) 妊娠合併症 （1）合併する全身疾患 （心疾患、糖代謝異常合併妊娠、甲状腺疾患、精神疾患、子宮筋腫） （2）妊娠疾患 （妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群、血液型不適合妊娠） 5) 妊娠期の感染症 6) 胎盤の異常 （前置胎盤、常位胎盤早期剥離） 7) 不育症				
2. リスクのある妊婦の看護 1) 高齢妊婦・若年妊婦 2) 生殖補助医療後の妊婦 3) 多胎妊婦 4) 切迫流・早産の妊婦 5) 合併症を有する妊婦				
4	ハイリスク分娩	1. 分娩期の異常 1) 分娩の3要素の異常 2) 分娩時損傷 3) 分娩時異常出血 4) 産科処置と産科手術		
5		2. 異常のある産婦の看護 1) 分娩の3要素の異常 2) 分娩時損傷 3) 分娩時異常出血 4) 産科処置と産科手術		

6	ハイリスク産褥	1. 産褥期の異常 1) 子宮復古不全 2) 産褥熱 3) 帝王切開術後 4) 乳腺炎 5) 排尿障害 6) 精神障害		
7		2. 異常のある褥婦の看護 1) 子宮復古不全 2) 産褥熱 3) 帝王切開術後 4) 乳腺炎 5) 排尿障害 6) 精神障害		
7.5	単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	系統看護学講座 母性看護学各論 医学書院			
自己学習時間	30 時間	事前・事後学習	妊産褥婦の健康の保持・増進に向けた看護を復習し、正常経過を理解したうえで講義に臨む。テキストで事前学習・事後学習を行う。	

＊この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	母性看護学演習	対象学生・時期	2 年生・後期	
		講義時間（単位）	30 時間（1）	
講師名	助産師として実務経験			
科目目標	1. 母性の対象となる人々の健康の保持・増進に向けた支援について理解する 2. 母性看護に必要な援助技術が習得できる			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	マタニティサイクルの 対象者への看護過程 の展開 (妊娠期)	1. 妊娠期のアセスメント 1) 妊婦のアセスメント	講義 演習	
2		2) 胎児のアセスメント		
3		3. 妊娠期の計画立案と評価		
4	母性看護に必要な 援助技術 (妊娠期・分娩期)	1. 妊娠期の援助技術 1) 妊婦体操 2) 腹囲・子宮底の測定 3) レオポルド触診法・胎児心音聴取 2. 分娩期の援助技術 1) 呼吸法・産痛緩和とマッサージ法		
5	マタニティサイクルの 対象者への看護過程 の展開 (分 娩 期 ・ 産 褥 期 ・ 新生児期)	1. 分娩期のアセスメント 2. 産褥期のアセスメント		
6		3. 新生児期のアセスメント		
7		4. 産褥期の計画立案と評価(褥婦)		
8		5. 産褥期の計画立案と評価(新生児)		
9	母性看護に必要な援 助技術 (産褥期・新生児期)	1. 産褥期の援助技術 1) 産褥体操 2) 乳房マッサージ 3) 子宮復古状態の観察		
10		2. 新生児の援助技術 1) 抱き方、衣服交換、おむつ交換 2) 身体計測、バイタルサイン測定		
11		3) 沐浴、ドライテクニック		
12	マタニティサイクルの 対象者への看護過程 の展開 (産褥期)	1. 退院後の生活に向けた看護 1) 退行性変化の促進 2) 進行性変化の促進 3) 育児技術の習得		
13		4) 指導方法の検討 (1) 健康の保持・増進 (2) 母子相互作用		
14				
15	単位認定試験・まとめ			
評価方法	1. 課題の提出状況・内容 2. 筆記試験			
使用テキスト	系統看護学講座 母性看護学各論 医学書院			
参考図書	写真でわかる母性看護技術（改定版） インターメディカ 根拠と事故防止からみた母性看護技術 医学書院			

	根拠がわかる母性看護過程 南江堂		
自己学習 時間	30 時間	事前・事後学習	母性看護学領域全ての科目の復習をして講義に臨む。 技術は動画を視聴する。計画的に課題に取り組む。